

1. 科目名 (単位数)	発達心理学Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	JCTC2406
2. 授業担当教員	酒井 博美		
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	発達心理学Ⅰを受講していること		
7. 講義概要	「発達心理学Ⅱ(保育の心理学Ⅱ)」では、「発達心理学Ⅰ(保育の心理学Ⅰ)」で学んだ知識をもとに、保育現場における子ども理解とそれに基づく支援の実際について、発達心理学的視点から学ぶことを目的とする。		
8. 学習目標	①現場における子どもの行動を、発達の視点で見ることができるようになる。 ②子どもの発達をふまえたクラス運営についてのイメージがもてる。 ③障害のある子どもや気になる子どもへの対応、虐待や登園しぶりへの対応についての基礎知識を身につける。 ④保護者を支える知識を身につける。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	事前学習について、下記に示した参考書などをもとに内容を確認しておくこと。また第9回と第15回の授業では、これまでの学習内容のまとめを行い、その後習熟度を確認するためのレポート作成を行う。各回の講義内容の理解を定着させるように、毎回の復習を確実にすること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】次良丸睦子・五十嵐一枝・相良順子・芳野道子・高橋淳一郎『現代の子どもをめぐる発達心理学と臨床』福村出版 2021年 【参考書・教材】二宮克美・大野木裕明・宮沢秀次編『ガイドライン生涯発達心理学[第2版]』ナカニシヤ出版 2012年 滝川一廣『子どものための精神医学』医学書院 2017年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 現場での子どもの行動について、発達の視点で説明できるか 2. 子どもの発達に合わせた保育活動、クラス運営について説明できるか 3. 「気になる子ども」の特徴を説明し、対応について考えることができるか ○評定の方法 課題への取り組み・授業態度 30% グループ発表等の授業活動 30% 小テスト・試験 40%		
12. 受講生へのメッセージ	発達心理学Ⅰの内容を理解したうえで、さらに子どもをめぐる臨床的課題を含めて心理学的な知見を深めます。保育者に必要な発達心理学およびその臨床に関してより幅広い学びを得てください。		
13. オフィスアワー	初回授業で指示します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスを確認し授業内容を理解する
		事後学習	今後の授業内容について理解し準備する
第2回	乳児期の発達	事前学習	乳児期の発達の特徴を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第3回	幼児期の発達	事前学習	幼児期の発達の特徴を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第4回	児童期の発達	事前学習	児童期の発達の特徴を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第5回	青年期の発達	事前学習	青年期の発達の特徴を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第6回	子どもにとっての家族	事前学習	現代の家族の特徴を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第7回	発達障害1:発達障害理解の基礎	事前学習	発達障害の現状を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第8回	発達障害2:主な発達障害(自閉症スペクトラム障害、注意欠如多動性障害、限局性学習障害)	事前学習	3つの障害について調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第9回	中間のまとめ	事前学習	これまでの授業内容について理解を深める
		事後学習	これまでの授業内容についての知識や考え方の定着を図る
第10回	子どもの心の病	事前学習	子どもの心の病にどのようなものがあるか調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第11回	子ども虐待	事前学習	過去の虐待の記事などに目を通す
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第12回	学校適応に関する課題	事前学習	いじめ、不登校の現状を調べる
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第13回	支援のためのアセスメント	事前学習	アセスメントの目的について考える
		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第14回	スクールカウンセリング	事前学習	スクールカウンセラー導入の経緯について調べる

		事後学習	授業を振り返り内容を理解する
第15回	まとめ	事前学習	これまでの授業を振り返り、わからないところをまとめる
		事後学習	これまでの授業内容についての知識や考え方の定着を図る